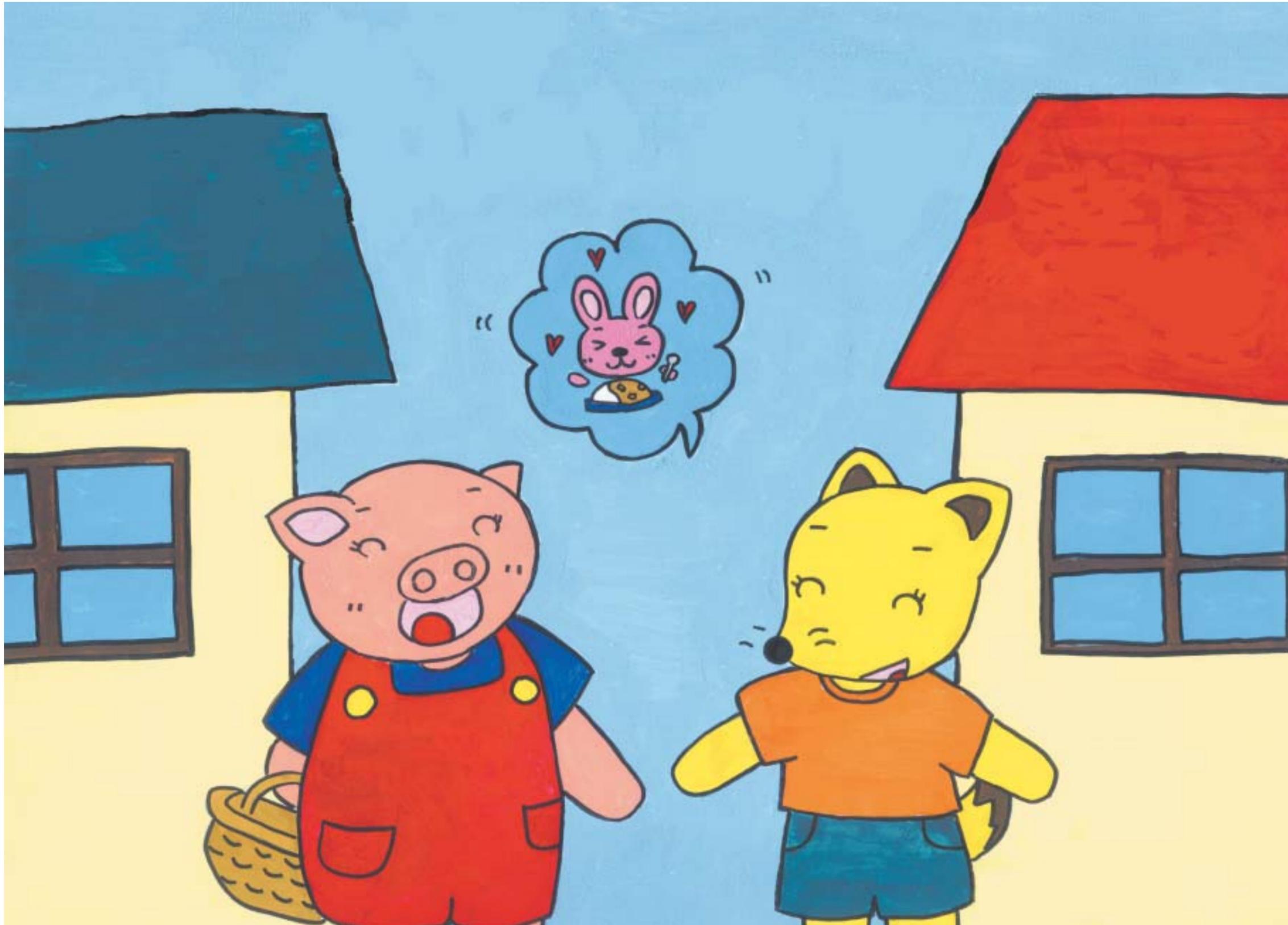


みんなであ たのしい おかいもの





きょうはうさぎさんの
たんじょうび。

うさぎさんは
かれー
カレーがだいすき。

そこで、きつねさんと
ぶたさんは、

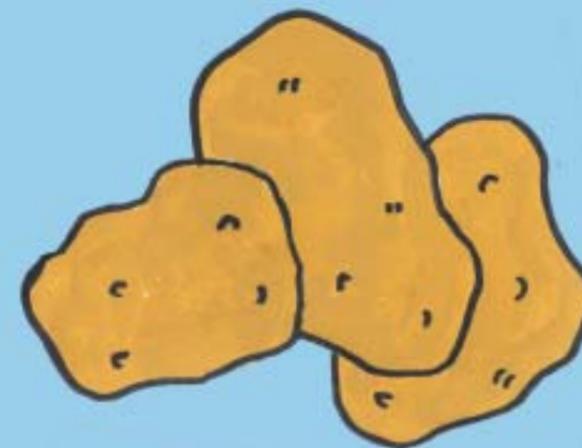
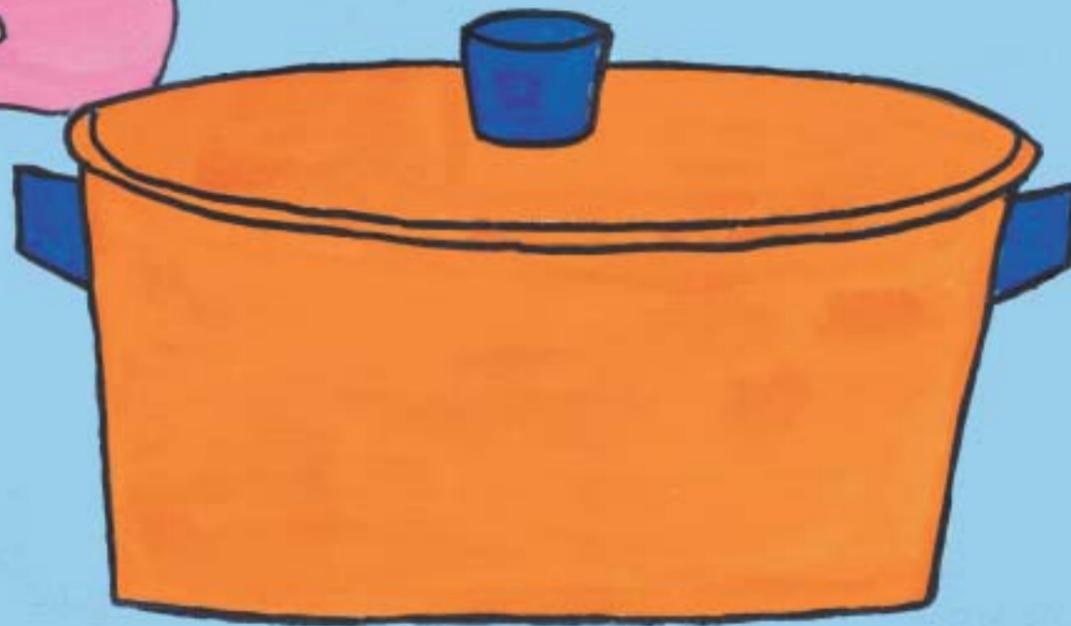
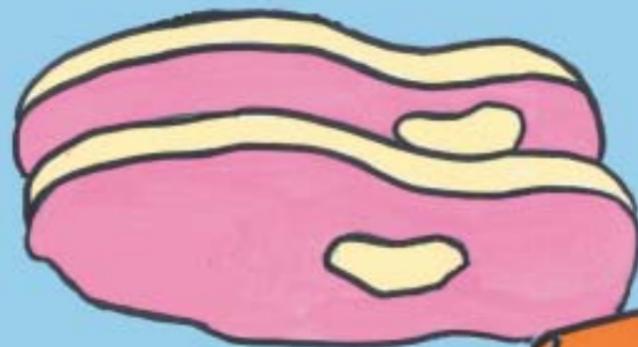
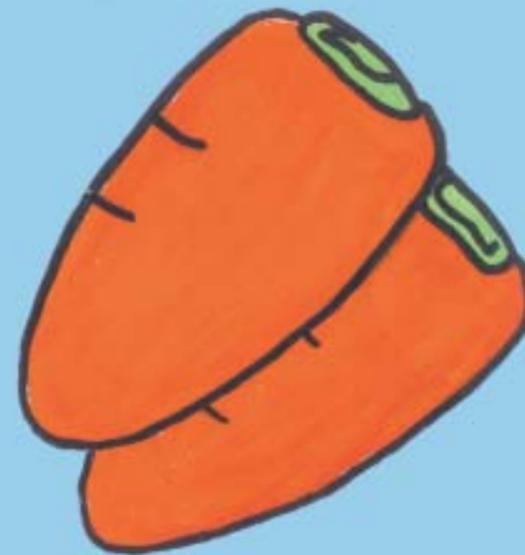
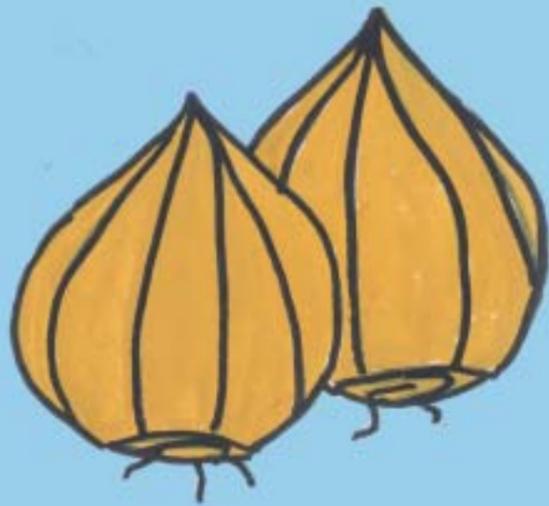
うさぎさんに
かれー
カレーをつくって

おたんじょうかいを
ひらくことにしました。

きつねさんとぶたさんは、
かれー
カレーの

ざいりょうをかうため、
おみせに

かいものにでかけました。



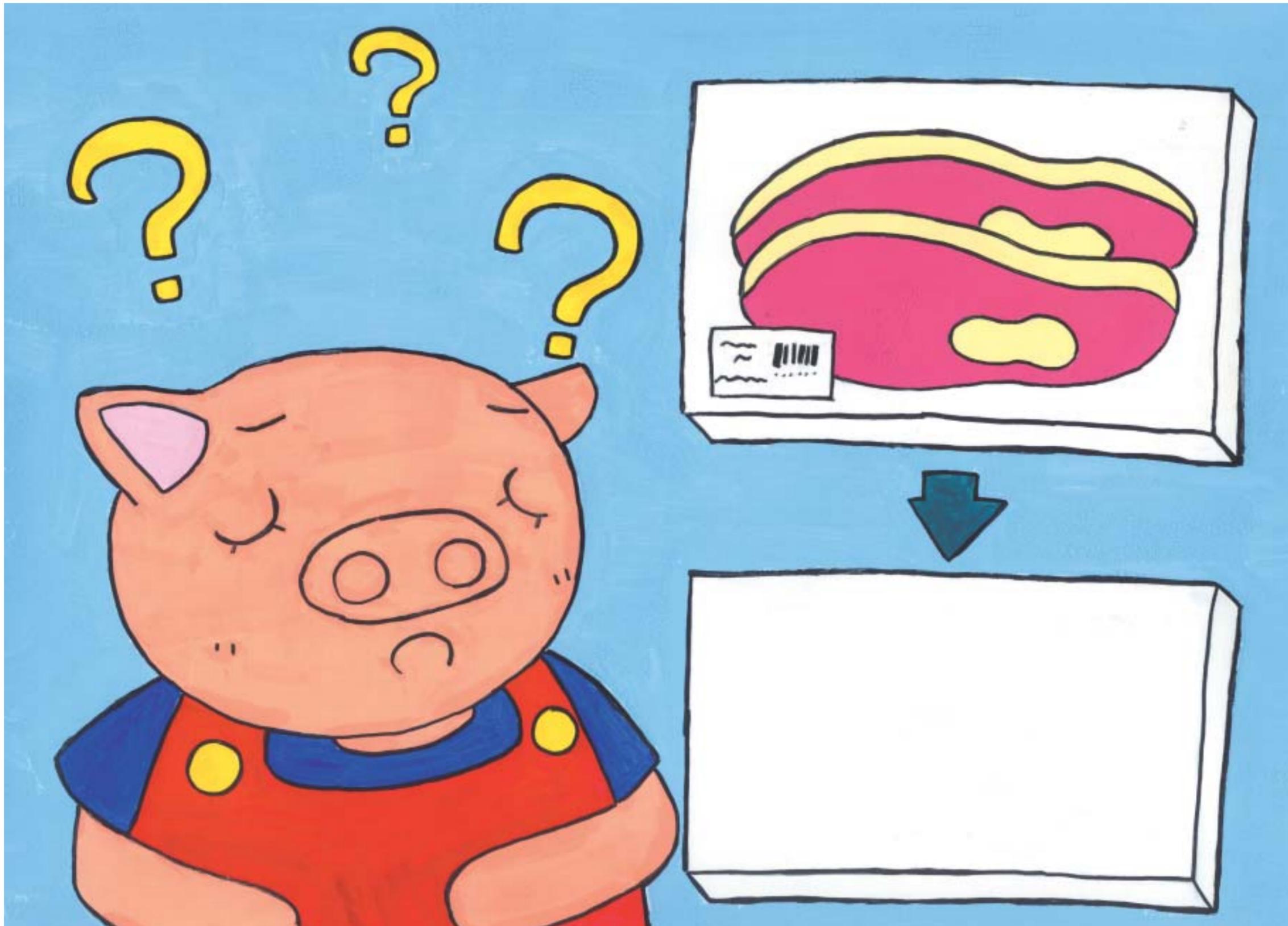
かれー
カレーをつくるには・・・

かれーるう
カレー、じゃがいも、
にんじん、たまねぎ、
おにくがひつようです。



きつねさんがいいました。

「このきれいなはこ
『しょくひん^{とれい}トレイ』に
はいつている
おにくをかおうよ。」

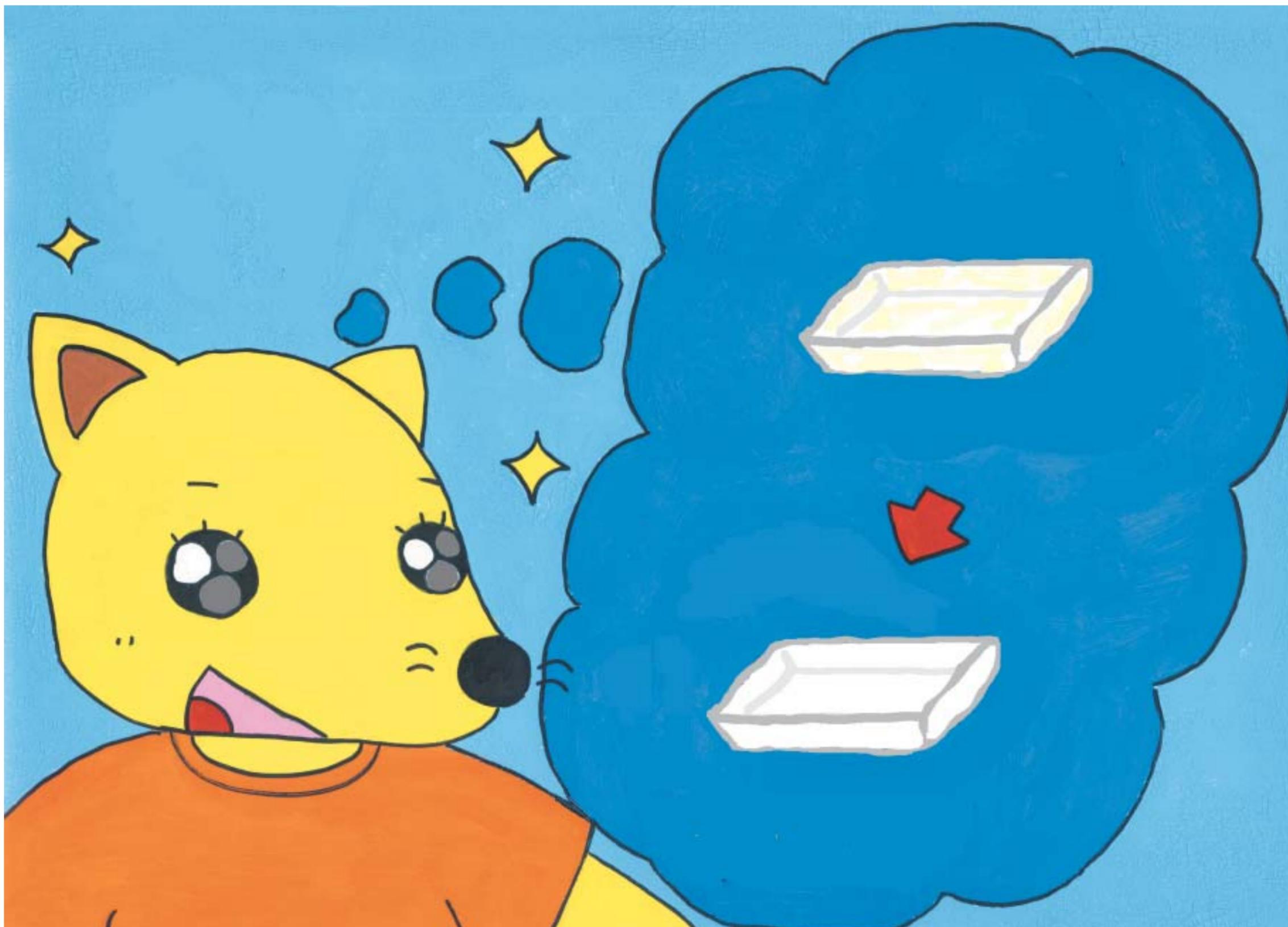


ぶたさんがいいました。

「えっ、でも、カレーをつくるのにつかうのはなかのおにくだだけだよね。

このきれいなはこの『しょくひんとれい』って、カレーをつくったあと、どうなるの？

ごみになっちゃうんじゃないの？」

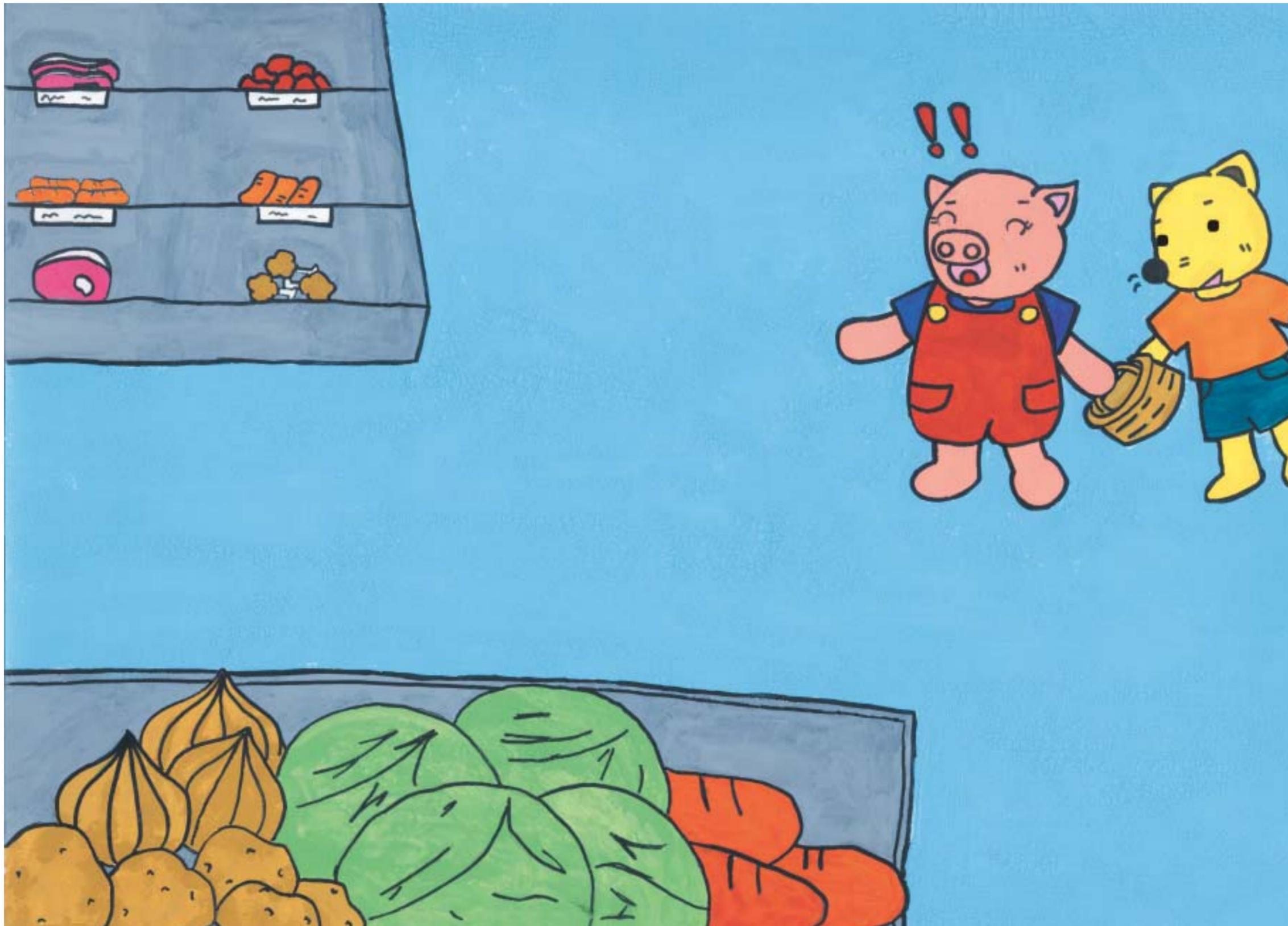


きつねさんがいいました。

「そうか……。でもたしか『しょくひん^{とれい}トレイ』はあたらしいものにうまれかわって、『リサイクル』できるんだよね。」

ぶたさんがいいました。

「そうだね。『リサイクル』もたいせつだけど、いらぬものははじめからもらわなければもっといいよね。ほら、あっちもみにいってみようよ」



よくみると、
やさいもおにくも、
はこやふくろに
はいつていなくて
そのままうられていました。
「そっかあ、ここでかえば、
ほんとうにいるものだけで、
いらないふくろやはこが
ないからごみがでないね。
ここでかおう」
と、きつねさんがいいました。



かうものをかごにいれ、
レジにいきました。

そこでぶたさんが
いいました。

「^{ぼっく}バッグを
もってきているから、
レジぶくろはいりません」



それを見ていた
きつねさんは
おもいました。
「そっかあ、
じぶんの^{はっぐ}バッグを
もってくれば、
れじ^ししジぶくろを
もらわなくていいんだ。
れじ^ししジぶくろってごみに
なるもんなあ！
かいものにいくときには
じぶんの^{はっぐ}バッグを
もっていこう！」



きつねさんとぶたさんは
かいものがおわり、
おうちにかえりました。
そして、
うさぎさんのために
いっしょうけんめい
かれー
カレーをつくりました。

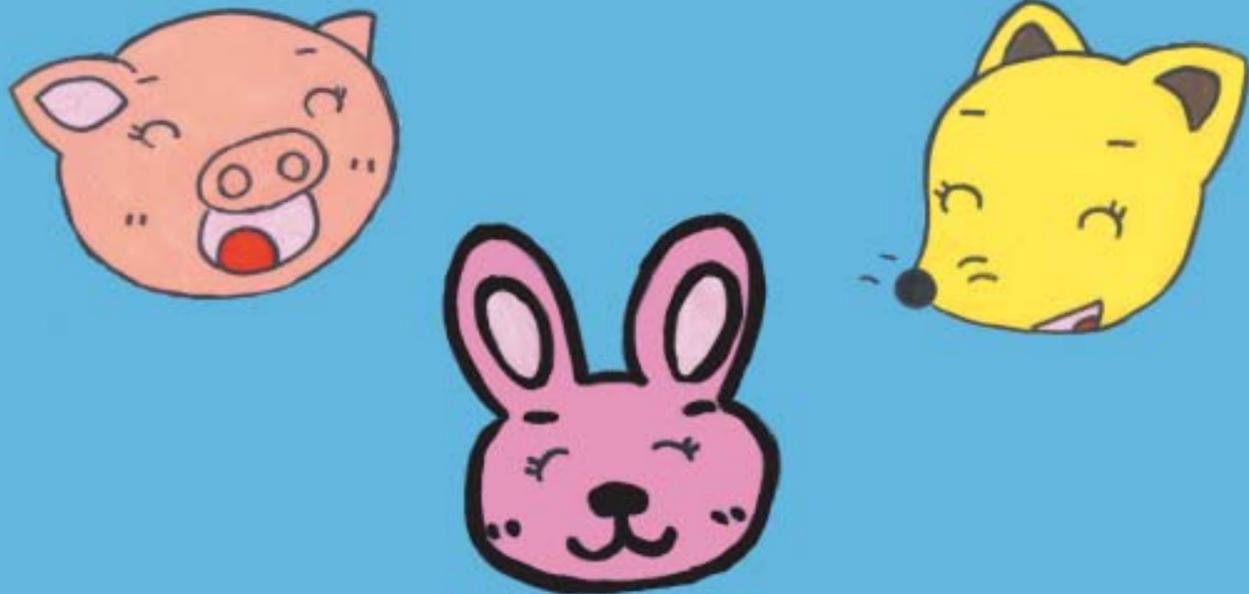


「うさぎさん、
おたんじょうびおめでとう。
ふたりでカレーをつくったよ。
ごみをあんまり
ださないように
かいものをしてきたんだ」

「わあ！きつねさん、ぶたさん
どうもありがとう。
でも、ごみをださないように
かいものをしたってすごいね。
こんどは
ぼくにもおしえてよ。」

「いいよ、こんどはぶたさんの
おたんじょうびだから
うさぎさんもいっしょに
かいものにいこうよ。
うさぎさんにも
おしえてあげるよ」

うさぎさん、とってもよろこんでくれたみたいで
よかったですね。



ほんとうに
いるものだけを持って、
いらぬものは
かわない・もらわない
ようにすることです。



みなさんもこの
なかまたちのように、
おかいものときには、
なるべくごみを
ださないように
してみようね。

(おしまい)



とおいごみ^{ぜろ}のく^ろにからやってきた
りー (Ree)ちゃんもおよろこび。



きつねさんは、
ごみをださないような
かいものをうさぎさん
におしえてあげると
いっていましたが、
どんなことだったかな？

この絵本は、暮らしの中のごみについて
子どもたちに関心を持ってもらうために
作成しました。
絵本をとおして、子どもたちと一緒に
どうしたらごみを減らせるか
考えてみてください。



飾区ごみ減量・3R推進キャラクター
リー(Ree)ちゃん

平成19年5月

発行
飾区環境部リサイクル清掃課
" 清掃事務所

協力
日の出保育園